

【抄録様式】

<p>公益社団法人 8020 推進財団 平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名	平成 25 年度口腔管理医療連携モデル事業普及啓発シンポジウム
2. 申請者名	一般社団法人愛知県歯科医師会 会長 渡邊正臣
3. 実施組織	一般社団法人愛知県歯科医師会 地域保健部 I
4. 事業の概要	平成 23 年度より愛知県地域保健医療計画をもとに、がん治療を受けている患者を中心に医療連携に基づき医療連携体制を確立し、多職種共同下での口腔管理体制の提供の構築を図る目的で本会と愛知県がんセンター中央病院、愛知県薬剤師会、愛知県歯科衛生士会とで行い、今回 3 回目をむかえた。
5. 事業の内容	<p>1) 基調講演「医科歯科連携の重要性と今後の展望」 名古屋学芸大学管理栄養学部 管理栄養学科教授 (元愛知県健康福祉部 部長) 五十里 明 氏</p> <p>2) シンポジウム ＜座長＞ 中日新聞社 編集委員 安藤 明夫 ＜シンポジスト＞ 「がん医療の質を左右するおもてなし ～病を受け入れる心作りは口から始まる～」 トヨタ記念病院 歯科口腔外科 科部長 牧野 真也 氏 「抗がん剤治療を受けられる方の口腔ケア」 名古屋第一赤十字病院 化学療法センター師長 濱嶋 なぎさ 氏 「トヨタ記念病院における周術期口腔管理」 トヨタ記念病院 歯科衛生士 梅澤 志穂美 氏 「がん治療と口腔ケア」 NPO 法人 ミーネット ピアサポーター 釘貫 由美子 氏</p> <p>3) ディスカッション</p>
6. 実施後の評価 (今後の課題)	多職種での医療連携のハード面でのシステムの構築と共通言語の共有化に課題がある。